

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋三丁目1番1号				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社ブリヂストン 取締役 代表執行役 CEO 石橋 秀一				
事業概要	ゴム製品製造業				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	11,589.0	kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台	
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間	R2 年度 ~ R4 年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	社会から信頼され、自らも誇れる企業となる事を目指し、持続可能な循環型社会の実現に向けて、地球環境の保全及び多様な生活者一人ひとりの安全と健康に配慮した企業活動を推進する。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	ISO14001による推進体制				
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	国内全工場 取得年月日 1997年5月14日	
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	1.高効率モーターの採用 2.照明機器高効率化 3.蒸気配管保温更新 4.エアーコンプレッサー高効率化				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (R1) 年度	前年度の実績 () 年度	目標年度(B) (R4) 年度	増減率 ((B-A)/A)
		17,642 t-CO ₂	t-CO ₂	20,218 t-CO ₂	+14.6 %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C) 原単位 0.23420 当たり t-CO ₂	前年度の実績 原単位 当たり t-CO ₂	目標年度(D) 原単位 0.21955 当たり t-CO ₂	増減率 ((D-C)/C) △6.3 %
	原単位の考え方	製品重量換算生産量			
特記事項	平成30年度から令和元年度にかけてボイラーを高効率タイプに更新(約600トン/年削減)				

- 備考 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
- 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。